

THORPEX 研究連絡会第 4 回研究集会開催のお知らせ

東京大学大気海洋研究所国際沿岸研究センター共同利用研究会・日本気象学会 THORPEX 研究連絡会第 4 回研究集会「太平洋・アジア域に影響を与える気象」を以下の日程で開催します。多数のご応募をお待ちしております。若干ですが、旅費の補助が可能です（民間企業・学部学生は対象外）。本人あるいは指導教官から旅費の支出ができない場合はご相談下さい。

開催場所：東京大学大気海洋研究所国際沿岸研究センター（岩手県上閉伊郡大槌町赤浜 2-106-1）

開催日時：2010年9月14日(火)午前10時～15日(水)正午

開催目的：顕著な気象やその発生ポテンシャルを十分なりードタイムをもって正確に予測することは、単に防災・減災の観点からだけでなく、社会経済活動を効率よく行うためにも有益なことである。

顕著現象の予測精度をさらに向上させ、社会に役立てるため、世界気象機関は THORPEX（観測システム研究・予測可能性実験）を2003年から開始し、3つの作業部会（データ同化・観測システム、予報可能性と力学過程、全球双方向予報システム—THORPEX 双方向全球アンサンブル）を設置して活動している。この計画の下、2008～2009年には太平洋アジア域において、夏から秋にかけては台風と

その温帯低気圧化、冬には発達した温帯低気圧を対象とした T-PARC（THORPEX 太平洋・アジア域特別観測）が実施された。

本研究集会では、当該研究計画に参加する全国の気象研究者や予報担当者が一堂に会して、T-PARC や関連する観測システムや予測可能性研究の成果について集中的に討議し、太平洋・アジア域に影響を与える気象のメカニズムを明らかにすることにより、その予測精度向上及び予測情報の社会経済活動への利用を促進することを目的とするものである。

申込締切：2010年7月9日（金）

申込方法：電子メールのタイトルに「大槌2010参加申込」と記入、氏名、所属研究機関・部局名、職名、電話番号、メールアドレスを本文に記入し、日本気象学会予稿集に準じた書式・ファイルサイズの予稿（PDF形式）を添付して、下記まで送付する。旅費補助希望者は、旅行日程、出発地（勤務地最寄駅）、勤務先住所も本文に記入すること。センター内の宿泊所を主に学生用に確保してある。宿泊を希望する場合はその旨本文に記載する。

申込先：海洋研究開発機構地球シミュレータセンター
榎本 剛 eno@jamstec.go.jp（研究代表者）